

〔論 説〕

認知意味論のカテゴリー観と意味変化 (2)

—意味変化の普遍性—

松 本 理一郎

1 初めに

前回、「同じ穴の貉」という諺から、同一物と類似物のつながりを、印欧語族の数言語に現れた「同じ」、「同じような」を表す語の語源を辿り、ヴィトゲンシュタインの家族的類似性との結びつきに触れた。前回詳しく触れなかった語根を分析することから始めたいと思う。

2 語根 oino-

この語根から、ゲルマン語派の, one, an, a (英語), eins, ein (ドイツ語), een, een (オランダ語) が生まれている。英語の *birds of a feather* 同様、ドイツ語の不定代名詞には「同じ」という意味がある⁽ⁱ⁾。

- (1) Ich bin mit dir eins. (私は君と同じ考えだ。) 独和大辞典 (以後は、独和大と略す。)
- (2) Das alles ist mir eins. (それは私には同じことだ。) 同上
- (3) Ze zijn van een leeftijd. (彼らは同じ年齢である。) 講談社オランダ語辞典 (以後は、オランダ語と略す。)

2.1 only, einzig, alone など⁽ⁱⁱ⁾

次に、英語の *one* 関係する語の比喩的拡張について概観する。既に前回の論文でふれた接尾辞 *-ly* が付加されて生じたのが *only* である。古英語には、「孤独な」という意味もあった。現代英語では以下のように使われる。

- (4) This is the only book that has ever been written on the subject. (唯一の) 新英和大辞典 6 版 (以後は、新英和大と略す。)
- (5) He is the only man for the job. (無比の、うってつけの) 新英和大
- (6) I mailed the letter only yesterday. (つい) 同上
- (7) It is right only because it is customary. (ただ単に) 同上

(i) Bernd Heine と Tania Kuteva の *World Lexicon of Grammaticalization* (以後、WLG と略す) によると、「一つ」を表すアルバニア語 *një* とスワヒリ語 *-moja* も「同じ」という意味を表す。

(ii) WLG の ONE (NUMERAL) の (1) ALONE の項で、ドイツ語 *allein* についてふれているが、数詞単独でなく、それ以外の要素 (この場合 *all* や *-ly*) が付加されていることに注目している。

(iii) *only* に対応するもう一つの *nur* については、ここではふれない。

対応するドイツ語とは, einzig である。以下に用例をあげる⁽ⁱⁱⁱ⁾。

- (8) ein einziger Baum (たった一本の樹木) 独和大
- (9) Das ist das einzige, was ich kann. (それが私にできるただ一つのことです。) 同上
- (10) Er ist einzig auf seinem Gebiet. (彼はその専門領域では並ぶ者がいない (第一人者だ。)) 同上
- (11) Er denkt einzig und allein an sich. (彼はもっぱら自分のことばかり考える。) 同上

この語は, einzeln (「単独の, 個々の」) と関連する^(iv)。以下に用例をあげる。

- (12) eine einzelne Frau (連れのない女性) 同上
- (13) ein einzelner Schuh (靴の片方) 同上
- (14) jedes einzelne Kind (子供ひとりひとり) 同上
- (15) einzelne von uns (私たちの中の幾人か) 同上

英語で one に, 強調の all がついて生まれたのが alone である。この語は, 中英語に遡る。

- (16) They were left alone there. (一人で) 新英和大
- (17) I am not alone in (holding) this opinion. (一人だけ) 同上

対応する現代ドイツ語 allein は以下のように用いられる。

- (18) Er ist allein auf der Welt. (彼は天涯孤独だ。) 独和大
- (19) Sie steht allein. (彼女は独身 (一人暮らし) である。) 同上
- (20) Das habe ich allein gemacht. (それは独力でやりました。) 同上

対応する現代オランダ語 alleen には, 「一人きりの, 独力の, ただ…だけ, 孤独な, 単に」の語義がある。

関連する現代ドイツ語は einsam である。この語は, 語根 oino- と前回の論文で詳述した語根 sem- とが結びついたものである。英語には, この組み合わせは, 伝えられていない。現代ドイツ語の例を以下にあげる。

- (21) ein einsamer Mensch (さびしい人) 独和大
- (22) ein einsamer Entschluß (一人だけの決断) 同上

現代ドイツ語 einsam に対応する現代オランダ語 eenzaam には, 「一人の, 寂しい, 人けのない」などの意味がある。

- (23) een eenzame (孤独な人) オランダ語
- (24) Het is hier zo eenzaam. (ここはとても寂しい場所だ) 同上
- (25) eenzame wegen (人けのない道) 同上
- (26) eenzaam leven (孤独な生活を送る) 同上

2.2 lone, lonely, any, enig など

alone の頭音が消失して生まれたのが文語の lone である。

- (27) a lone traveler. (単独の) 新英和大
- (28) a lone wolf (孤独を好む) 同上

(iv) 前回の論文の (41), (42) の single に関連して取り上げたラテン語の singli (「一つずつ, 各自の, たった一つの」) も参照。

only と同じく lone に、前回の論文でふれた接尾辞 -ly が付加されて生まれたのが lonely である。この語も、中英語に遡る。

(29) Only the lonely know the meaning of despair. (孤独な、一人ぼっちの) 新英和大

(30) "It's lonely at the top," my boss admitted. (寂しい、孤独感を生む) 同上

(31) a lonely house (人里離れた) 同上

現代英語 one, 現代ドイツ語 ein, 現代オランダ語 een が、遡るゲルマン語派の推定形 *ain- に接尾辞が付加されて生じたのが、現代英語の any である^(v)。

(32) He doesn't read any book. 新英和大

(34) Are there any letters for me? 同上

(35) Any schoolboy can do that. (どんな) 同上

対応する現代ドイツ語 einig の語義は示唆的である。9世紀の古ドイツ語では「一致している、調和して」という意味である^(vi)。現代ドイツ語では、「一つになった、団結した、(考えが)一致した、同意した、唯一の」などの語義がある。

(36) In diesem Punkt sind wir uns enig. (我々はこの点では意見が一致している。) 独和大

(37) Der einige Gott (ただひとりの神) 同上

(38) Einige hundert junge Leute (数百人の若い人々) 同上

対応する現代オランダ語 enig には、「唯一の、比類ない、いくつかの、何人かの、ただ…だけ」などの語義がある。

(39) Dat vaasje is enig! (あの花瓶すてきね。) オランダ語

(40) Het is enig in zijn soort. (それはユニークだ・) 同上

(41) Het is enige dat hij zei was … (彼の) 言ったのはただ…だけであった。) 同上

(42) enig en hunner (彼らのうちの幾人か) 同上

(43) enig en alleen omdat … (ただ…のために) 同上

2.3 none, kein など

現代英語 one に相当する古英語 ān に否定の接頭辞 ne- がついた末裔が、現代英語の none である。

(44) There were none present. (だれも…ない) 新英和大

(45) That is none of your business. (少しも…ない) 同上

対応する現代ドイツ語は、形態上 nein で、現代英語の yes に対する no の用法に対応する。それ以外の no や none に概ね対応するのが kein である。古ドイツ語 nihein の否定の接頭辞の音声変化と頭音の脱落から生じた語である。以下に用法をあげる。

(46) Der Wal ist kein Fisch. (鯨は魚ではない。) 独和大

(47) Auf der Straße war kein einziger Mensch. (路上には人っ子ひとりいなかった。) 同上

(v) ここでは、any の弱形と強形の音声上の違いはふれない。

(vi) 前回の論文で取り上げた seem の古ノルド語段階での意味が、「適合している、ふさわしい」という意味であることと、やはり前回取り上げた ensemble が「調和、適合」という意味であることも参照。

- (48) Er hat kein bißchen geweint. (彼は全然泣かなかった。) 同上
(49) Keiner von uns wird das glauben. (我々のうちの) だれもそれを信じないだろう。) 同上

現代オランダ語で kein に対応するのは geen である。

- (50) geen van allen (だれも…ない。) オランダ語
(51) Geen ander kan dat. (他のだれもそれをできない) 同上
(52) Hij kent geen Engels. (彼は英語を知らない。) 同上
(53) Hij heet geen Jan. (彼の名前はヤンでない。) 同上

2.4 once, enist, eens

英語史では、複雑な来歴があるが、簡略に言えば、one に副詞を表す語尾がついて生まれたのが once である。現代英語では、「かつて、一度、ひとたび…すれば」などの意味を表す。

- (54) There once lived a wise man. (かつて) 新英和大
(55) The earth goes around the sun once a year. (一回) 同上
(56) I have heard it said once and again. (何度も、時々) 同上
(57) Once that is accomplished, all will be well. (いったん) 同上

現代ドイツ語では einst が、対応する。

- (58) einst wie jetzt (昔も今も、相変わらず) 独和大
(59) Du wirst es einst bereuen. (君はいつかそれを後悔することになるよ。) 同上
einst は名詞にもなり、「過去、将来、来世」という意味をあらわす^(vii)。

現代オランダ語では eens にあたり、「かつて、いつか、…でさえ、一致した、合意した」などを表す^(viii)。

- (60) de eens beroemde schoonheid (かつては名の知れた美人) オランダ語
(61) Hij bedankte niet eens. (彼は礼を述べることすらしなかった。) 同上
(62) Wij zijn het eens met elkaar. (我々は意見が一致している。) 同上

3 ラテン系の語彙

語根 oino- は、ラテン語の数詞 unus に現れる。古典ラテン語辞典の見出し語となっている語彙とその意味を列挙する：unus (一つ、一人 (の)、唯一の、同じの、この上なく) una (一緒に、同時に、一斉に、直ちに) unice (唯一の方法で、比類なく、例外的に、異常に、特に、もっぱら) unicus (唯一の、単独の、比類なき、独特の、異常な) unigena (唯一人で生まれた者、唯一のもの、同一の親から生まれた者、兄弟、姉妹)

最後の語 unigena は、前回の論文で取り上げた語根 gen- とこの節の oino- に由来する語が結びついたもので、その意味は、まさしくヴィトゲンシュタインの家族的類似性とカテゴリーのとらえ方を明らかにする結びつきと考えられる。

(vii) 前回見た sempre (常に、いつも) sempiternal (永遠の) も参照。

(viii) ここでも、また「合意した、一致している」という意味が表れている。

3.1 unique, unite など

日本語には、ユニフォーム^(ix)、ユニヴァーサルのように、uni- から始まる語が、英語からの外来語として定着している。ユニーク (unique) もその一語である。現代英語には、フランス語から 17 世紀に入っている。

(63) His unique wish was to work. (唯一の) 新英和大

(64) It's absolutely unique. (珍しい) 同上

(65) These features are by no means unique to Japan. (独特の) 同上

現代フランス語 (unique) の語義「たった一人の、たった一つの、例外的な、珍しい」は共通する。

(66) mon unique espoir (my only hope) Collins Robert French Dictionary (以後、CRFD と略す。)

(67) C'est un fils/une fille unique. (He's/She's an only child.) CRFD

(68) C'est un livre unique. (It's a truly unique book.) CRFD

現代スペイン語 (unico) の語義「たった一つの、たった一人の、比類なき」は共通である。

(69) Fu el unico sobreviviente. (He was the only survivor.) Collins Spanish Dictionary (以後、CSD と略す。)

(70) Este ejemplar es unico. (This specimen is unique.) CSD

現代イタリア語 (unico) の語義「唯一の、比類なき」も共通である。

動詞 unite は、ラテン語 unire から来ている。現代英語では、他動詞として以下のように使われる。

(71) The junction unites the country road with the main highway. (結合する) 新英和大

(72) unite bricks and stones with cement (接合する、粘着する) 同上

(73) bodies of people united by a common spirit (団結させる、結束させる) 同上

(74) The two families were united by marriage. (婚姻関係に結ぶ^(x)) 同上

(75) She united intellect with sensibility. (兼ね備える) 同上

以下は、自動使用法である。

(76) Smoke unites with fog to form smog. (合して一つになる) 同上

(77) She united with her sister in evading the event. (提携する、協力する) 同上

対応する現代フランス語 (unir) では、英語の (73), (74) と意味が重なる。

(78) le sentiment commun qui les unit (the shared feeling which unites them) CRFD

(79) ce que Dieu a uni (whom God has joined together) CRFD

(ix) 現代英語の uniform は、ラテン語 uniformis (同じ形をした) に遡る。重要な点は、一つ、目に見える形が同じであるという視覚に基づいている点と、二つに、普通、血縁に基づかない組織を束ねるものとしての制服の意味合いである。

(x) 白川静によると、日本語の「結ぶ」は「暖気や湿気によって生じる「苔むす」の「生す」や湯気で熱する「蒸す」と同源で、「虫」は同系という。これはラテン語の natura に平行するとらえ方であろう。

対応する現代スペイン語 (unir) には, (71), (72), (73), (74)が重なるが, (72)の前段階の「よく混ぜ合わせる, ねっとりさせる」がある^(xi)。

(80) Es la persona perfecta para unir al partido. (He is the ideal person to unite the party.) CSD

(81) Los une el mismo amor a la verdad. (They are united in their love of the truth.) 同上

(82) unir a dos personas en matrimonio (to join together two people in matrimony) 同上

(83) La autopista une las dos poblaciones. (The motorway links the two towns.) 同上

(84) unir los bordes con cinta adhesiva (to stick the edges together with adhesive tape) 同上

(85) Se unieron al resto del grupo en París. (They joined the rest of the group in Paris.) 同上

対応する現代イタリア語 (unire) も, 現代スペイン語とほぼ重なる。

(86) unire in matrimonio (to unite in matrimony) Collins Italian Dictionary (以後, CID と略す。)

(87) il sentimento che li unisce (the feeling which unites them) CID

(88) unirsi a un gruppo (to join a group) CID

3.2 unity, unit など

現代英語の unity も, ラテン語 unus に遡る。「単一, 統一体, 一致, 調和, 一貫性, まとまり」などの意味がある。

(89) They live together in unity. (和合) 新英和大

(90) find unity in diversity (まとまり) 同上

unity と digit から生れたのが unit (「単位」) である。

(91) The family is the basic unit of society. (構成単位) 新英和大

(92) an air-conditioning unit (設備, 装置一式) 同上

ラテン系のフランス語, スペイン語, イタリア語では, 英語の unity と unit は同一の語である。現代フランス語では unité が両者に相当する。

(93) l'unité nationale (national unity) CRFD

(94) l'unité de mesure/de poids (unit of measure/of weight) 同上

現代スペイン語では unidad が, 両者に当たる。

(95) falta de unidad un la familia (lack of family unity) CSD

(96) unidad de medida (unit of measurement) 同上

(97) unidad de cuidados intensivos (intensive care unit) 同上

現代イタリア語では unità が両者に相当する。

(98) unità di tempo (unity of time) OPID

(xi) 現代スペイン語の語義「混ぜ合わす」は現代英語の「接着させる」の前段階に当たり, 時間的な意味で換喩関係にある。

- (99) unità di misura (unit of measurement) 同上
(100) unità di terapia intensiva (intensive care unit) 同上

3.3 union

現代英語の union も同じ語根から来ている。古いフランス語から借用されて、現代英語では、次のような意味をもつ：「二つ以上のものが共通の目的で合体してできたもの、連合、労組、連邦、二つ以上のものをむすびつけること、連合、結合、合同、融合、和合、一致、結婚、性交、(国と国との政治的連合)、(接ぎ木の)接合、混ぜ織り、(傷口や骨折箇所)の癒着、融合、和集合、ユニオン継手」などである。

- (101) a trade union (労働組合) 新英和大
(102) a union member (組合員) 同上
(103) effect a union between two countries (2国間の連合を達成する) 同上
(104) Union gives strength. (団結は力なり。) 同上
(105) live together in perfect union (完全に和合して暮らす) 同上
(106) a happy union (幸福な結婚) 同上

現代フランス語、現代スペイン語、現代イタリア語では、それぞれ union, unión, unione が相当する。最初はフランス語である。

- (107) en union avec (in union with) CRFD
(108) L'union fait la force. (United we stand, divided we fall.) 同上
(109) l'Union sportive de Strasbourg (the Strasbourg sports club) 同上
(110) union conjugale (marital union) 同上
(111) Union européenne (European Union) 同上

以下はスペイン語である。

- (112) La operación consiste en la unión de los extremos del hueso fracturado. (The operation consists of joining together of the two ends of the fractured bone. CSD
(113) Solicitaron su unión a la OTAN en 1993. (They applied to join NATO in 1993.) 同上
(114) Viahó a París en unión de sus colegas. (He travelled to Paris together with his associates.) 同上
(115) Hemos fracasado por falta de unión. (We have failed through lack of unity.) 同上
(116) Unión Europea (European Union) 同上
(117) Su unión en santo matrimonio (their union in holy matrimony) 同上

最後に、イタリア語である。

- (118) l'unione di due frasi con una congiunzione (joining two sentences with a conjunction) OPID
(119) Da questa unione sono nati tre figli. (Three children have been born from this union.) 同上
(120) unione studentesca (student union) 同上

4 equal, égal, igual, uguale など

前回の論文の諺「同じ穴の貉」のポルトガル語版の例に用いられているのが *igual* で、この語はラテン語 *aequalis* に由来する。Ernout と Meillet による *Dictionnaire Etymologique de la Langue Latine* によれば、この語の原義は「平らな、傾いていない」で、ラテン語 *aequalis* (平坦な) *aequalitas* (水平, 平坦) *aequitas* (平坦, 平地) *aequor* (なめらかな表面, 平地, 風の海面, 海, 川の水面) や *aequum* (平地, 平面) *aequus* (平らな, 水平の) に現れている^(xii)。ラテン語の段階で既に、以下のように比喩的に拡張されている。*aequalis* (同じの, 等しい; 対等の, 同時代の; むらのない, 穏やかな), *aequalitas* (同量, 同質, 同年齢; 均一性; 均斉; 平等), *aeque* (同じように; 公平に), *aequitas* (平等, 正義, 博愛; 平靜; 均整), *aequo* (等しくする; 整列させる; 比較する; 匹敵する), *aequus* (等しい; 公平な; 親切な; 落ち着いた)

4.1 イタリアック語派での変化

ここからは、イタリアック語派でどのような意味変化が生じているかを見ていく。現代フランス語では *égal* が *aequalis* の後裔である。以下は、現代英語の *equal* や *the same* に対応する例である。

(121) *de poids égal* (of equal weight) CRFD

(122) *à nombre/prix égal* (for the same number/price) 同上

(123) *Tours et Paris sont à égale distance d'Orléans.* (Tours and Paris are the same distance from Orléans.) 同上

(124) *toutes choses égales par ailleurs* (all things being equal) 同上

英語では、古風となっている、原義に近い「平坦な」という意味がないわけではないが、比喩的用法が主である^(xiii)。

(125) *de caractère égal* (even-tempered) CRFD

(126) *marcher d'un pas égal* (to walk with a regular/ an even step) 同上

以下は、慣用表現で *the same* を用いて記載されている。

(127) *Ça m'est égal.* (=Je n'y attache pas d'importance.) (It's all the same to me, I don't care.) CRFD

名詞としての用法及びその慣用句的用法でも、以下は英語の *equal* に対応する。

(128) *Il ne fréquente que ses égaux.* (He only associates with his equals.) CRFD

(129) *Il a traité d'égal à égal avec moi.* (He treated me as his equal.) 同上

(130) *Sa probité est à l'égal de sa générosité.* (His generosity is equalled/matched only by his integrity.) 同上

(xii) 水平と同等との結ぶつきは、「天秤が水平あることが、同じ重さを示すこと」を表すことも一因であろう。これは、小ブリニウスの *aequa lance* (衡平なる秤皿をもって; 平等に; 極めて公平に) という言い回しに現れている。

(xiii) CRFD には語義はあるが用例は載せていない。白水社仏和大辞典には、「現在用いられない語義」を表す(廃)の指定がある。

名詞形 *égalité* は、英語の *equality* のみならず *equableness*, *regularity* などに対応する。

(131) À *égalité de qualification on prend le plus âgé.* (In the case of equal qualifications we take the oldest.) CRFD

(132) *égalité de chances* (equality of opportunity) 同上

動詞 *égaler* は、英語の *equal*, *match*, *rank* などに対応する。

(133) *2 plus 2 égale 4.* (2 plus 2 equals 4.) CRFD

(134) *Personne ne l'a encore égaré en adresse.* (So far there has been no one to equal/match his skill.) 同上

(135) *Son intégrité égale sa générosité.* (His integrity matches/equals his generosity.) 同上

4.2 現代スペイン語では *igual* が、*aequalis* の末裔である。原義の「平坦な」という意味も、比喩的な「一定の」という意味とともに残っている。英語では *equal* を使えず、*the same* や *like*, *alike* などに相当する *favx amis* (false cognates) は、以下である。

(136) *Todas las casa son iguales.* (All the houses are the same.) CSD

(137) *Llevaban la corbata igual.* (They were wearing the same tie.) 同上

(138) *Son únicamente iguales en apariencia.* (They are alike in appearance only.) 同上

(139) *Éste es igual al otro.* (This one is like the other one./This one is the same as the other one.) 同上

(140) *Había vendido ya dos vestidos iguales a ése.* (I have already sold two dresses like that one.) 同上

(141) *No he visto nunca cosa igual.* (I never saw anything like it.) 同上

(142) *Es igual que su madre.* (She looks just like her mother./She's just like her mother.) 同上

(143) *Las dos habitaciones son igual de grandes.* (The two rooms are the same size.) 同上

英語の *equal* と互換可能な語義は、以下のものである。

(144) *Se dividieron el dinero en partes iguales.* (They divided the money into equal shares.) 同上

(145) *Todos somos iguales ante la ley.* (We are all equal in the eyes of the law.) 同上

(146) *Un kilómetro es igual a 1,000 metros.* (A kilometre is equal to 1,000 metres.) 同上

(147) *tener igual importancia* (to be of equal importance) 同上

igual は副詞としても用いられるが、*equally* には、*por igual* が普通である。

(148) *Todos los extranjeros deberían ser tratados por igual.* (All foreigners should be treated equally.) 同上

(149) *Esta regla se aplica a todos por igual.* (This rule applies equally to everyone.) 同上

名詞 *igual* は「同等の者、同輩 (peer) ; 匹敵する者」の意味では、*equal* と共通である。

(150) Estaba mucho más contento entre sus iguales. (He felt much happier being amongst his equals.) 同上

(151) No hay nadie que se la iguale. (She has no equal.) 同上
igual の慣用句で、関連するものを以下にあげる。

(152) Es igual. (It's all the same.) 同上

(153) Le gusta Brahms, igual que a mí. (Like me, he is fond of Brahms.) 同上
英語の動詞 equal の意味は、「等しい；匹敵する；同等のことをする」と現代スペイン語の動詞 igualar とにはかなりずれがある。

(154) A final de año nos igualán el sueldo a todos. (At the end of the year they are going to make our salaries equal/ the same.) 同上

この意味は、英語 equalize に相当する。

名詞形 equality は igualdad に当たる。

(155) igualdad de oportunidades (equality of opportunity) CSD

(156) en igualdad de condiciones (on an equal basis) 同上

4.3 現代ポルトガル語 igual はかなりスペイン語と重なる。形容詞として「平坦な、一様な」などの語義もある。igual の名詞として慣用的表現を含め関連する例をあげる。

(157) ser igual a (to be the same as) Collins English Portuguese Dictionary (以後は、CEPD と略す)

(158) tratar alguém de igual para igual (treat somebody as an equal) CPED

(159) Nunca vi coisa igual. (I've never seen anything like it.) 同上

(160) sem igual (matchless, not to be equalled) Dicionário de Português-Inglês (以後 DPI と略す)

(161) Nunca veremos outro igual. (We shall never see his equal.) DPI

(162) por igual (equally) 同上

(163) não haver igual (to have no equal) 同上

(164) duas partes iguais (two equal parts) 同上 I

(165) Os homens são todos iguais perante Deus. (All men are equal in the sight of God) DPI

(166) de igual para igual (between equals) 同上

(167) estar em iguais condições (to be on equal footing) 同上

動詞 igualar は「匹敵する」という意味で、英語の equal と結びつくが、相当するのは igualar-se である。

(168) igualar-se a outro em inteligência (to equal another in intelligence) 同上

4.4 現代イタリア語で aequalis の末裔は uguale である。原義とつながる「平坦な」とその比喩的転用「斉一な；単調な」という語義はある。英語 equal とほぼ同じ用例を、慣用句的表現を含め、以下にあげる。

(169) di peso/valore uguale (of equal weight/value) CID

(170) in numero uguale (in equal numbers) Oxford Paravia Italian Dictionary (以

後 OPID と略す。)

- (171) a uguale distanza da (at an equal distance from) OPID
- (172) dividere in parti uguali (to divide in equal parts) 同上
- (173) essere uguale a (to equal) 同上
- (174) Tutti gli uomini sono uguali (All men are equal.) 同上
- (175) La legge è uguale per tutti. (All men are equal before the law.) 同上

以下は、英語では the same, alike, like などと表される場合である。

- (176) essere quasi uguale a (to be much the same as) 同上
- (177) I due corsi sono uguali. (The two courses are the same.) 同上
- (178) Non ci sono due vestiti. (No two dresses are alike.) 同上
- (179) Voglio una giacca uguale a quella. (I want a jacket like that one.) 同上
- (180) Abbiamo la cravatta uguale! (We're wearing the same tie!) 同上
- (181) Per me è uguale. (It's all the same.) 同上

以下は、iguale の名詞用法である。

- (182) non avere uguali (to have no equal) 同上
- (183) Il vino Italiano non ha uguali. (There's no wine like Italian wine.) 同上

4.5 ゲルマン語派のドイツ語、オランダ語では、前回の論文で取り上げた gleich と gelijk がそれぞれ対応する^(xiv)。

- (184) gleich viel Land (an amount of equal land) Collins German Dictionary (以後 CGD と略す。)
- (185) gleich viele Männer und Frauen (equal members of men and women) 同上
- (186) A hat den Gleichen Wert wie B. (A and B are of equal value.) 同上
- (187) Twee en drie gelijk aan vijf. (2 たす 3 は 5) オランダ語

現代ドイツ語では、gleich に加え、現代英語の even に対応する eben 「平らな、むらのない」との複合語 ebenbürtig {同等な} などとも equal に対応するが、これについては今後項を改めて分析、記述をしたい。

5 再び家族的類似性

今回、対象にした語根 oino- でも、前回ヴィトゲンシュタインの家族的類似と結びつく事例が見られ、語根 sem- と gen-, gna-, gn- について述べたことと同じようなことが言える。前回の語根 gen- と今回の語根 oino- が結合したラテン語 unigena に「同一の親から生まれた者、兄弟、姉妹」の意味がある。この親族に絡む意味は、社会的な意味でのつながり、即ち「結婚」、肉体的意味でのつながり「交配」、その結果としての「出産、子供の誕生、子供」と意味が拡大する。現代フランス語の union (結婚), unir (結婚させる), s'unir (結婚する、(肉体的に) 結ばれる)、現代スペイン語の union (結婚), unir (結婚

(xiv) 歴史的な原因から、現代英語には、多数のロマンス系の語彙が流入し、現代ドイツ語と異なる豊饒で微妙な意味の区別が可能となっていることが明らかである。

させる), 現代イタリア語の *unire* (結婚させる), *unirsi* (結婚する) などに, それらの意味が反映している。

古典的なカテゴリー論では, 一つのカテゴリーにまとめることは, それらに同一の特質を見出すことである。前回見たように, 色々な部品を集めて, 一つのまとまった機械などを生み出すには, それぞれの部品が相互に適合してつながる必要がある。つながらなければ, 全体としてまとまらない。部品それぞれは異なるものであるが, 適合性があるのでまとまる。認知意味論のカテゴリー観にてらして, この状況を考えた場合, 主な部品が, 目立った成員で, プロトタイプをなし, 周辺的な部品は, 周辺的な成員となろう。金属製のエンジンを例にとれば, 大部分の部品が金属であるという性質があることが, 多くの部品に当てはまる特質であろうが, 最重要なのは, 全体でエンジンとなるという性質であろう。つまり「つながる, 結びつける」という意味に焦点が当てられていると」考えられる。

結婚を通じて, 男性と女性が結ばれ, その結果, 子供ができて, 家族が生まれる。家族の成員として, 妻と夫とは普通血縁関係は離れていよう。両方の血を分有する子供は, 肉体的, 精神的などいろいろな点で, 両親との共通性を持ち。それが先祖や子孫に拡大されれば, 一族としての類似性をもたらす。これがヴィトゲンシュタインの家族的類似がとらえた, カテゴリーの成員すべてに共通する性質をもたないカテゴリーの典型である。

既に見たように, 婚姻関係を表す語が, それ以外の組織に拡大される。例えば, *trade union* (労働組合) では, 普通, 血縁関係にない者が, 一つの組織にまとめられる。当然, 組合員は, 別々の個人であるが, おなじ 義務と権利を持ち, 共通の目的のために行動する。このような組織は, 現代ドイツ語で *Gesellschaft* といい, 前回の諺(1)で, 関連する *gesellen* (道連れになる, 仲間になる) が使われている。これは, 血縁関係に基づく *Gemeinschaft*^(xv) と対比的に用いられる語である。

ラテン語 *aequus* の原義とされる「平坦な」とうい意味変化を見たが, 同一性と結びつく語根はまだあり, それらについては, 今後究明したいと考えている。

〔参考文献〕

- Geraerts, D 2010 *Theories of Lexical Semantics*, Oxford University Press, Oxford.
 國廣哲也 1982『意味論の方法』大修館書店
 Lakoff, G. 1987 *Women, Fire, and Dangerous Things: What Categories Reveal about the Mind*, University of Chicago Press, Chicago.
 Wittgenstein, L. 1953 *Philosophische Untersuchungen*, Basil Blackwell, Berlin.
 山口裕之 2019『語源から哲学がわかる事典』日本実業出版社

〔辞書, 辞典〕

- Atkins, B.T. et al 2000 *Collins Robert French-English English-French Dictionary Fifth*

(xv) *Gemeinschaft* の *gemein* は, ラテン系の語では *common, community* と, 現代英語の *mean* (平凡な, 下品な, けちな) と語根を同じくする。

- Edition, HarperCollins, Glasgow. (CRFD)
- Bareggi, M. C. et al 2001 Oxford Paravia II Dizionario Inglese Italiano · Italiano Inglese. Paravia Bruno Mondadori Editori e Oxford University Press, Oxford.
- Butterfield, J. 2000 Collins Spanish Dictionary Sixth Edition, HarperCollins, Glasgow. (CSD)
- Clari, M. and C.E. Love 2000 Collins Mondadori Nuevo Dizionario Inglese-Italiano · Italiano-Inglese, HarperCollins, Glasgow.
- Correard, M-H. and V. Grundy 2001 The Oxford-Hachette French Dictionary, Oxford University Press, Oxford.
- Ernout, A et A. Meillet 1954 Dictionnaire Etymologique de la Langue Latine, Libraire C. Klincksieck, Paris.
- Heine, B. and T. Kuteva, 2002 World Lexicon of Grammaticalization, Cambridge University Press, Cambridge.
- Houaiss, A. et al 2000 Dictionário Inglês-Português, Editora Record, Rio de Janeiro.
- 伊吹武彦他 4 名編 1981『仏和大辞典』白水社
- Jan de Vries, 1997 Nederlands Etymologisch Woordenboek, Brill, Leiden.
- Kluge, F und E. Seebold 1995 Etymologische Wörterbuch der deutschen Sprache
- 國原吉之助 2005『古典ラテン語辞典』大学書林.
- 岡松孝二他 11 名編 1985『独和大辞典』小学館.
- Lewis, C.T. 1891 Elementary Latin Dictionary, Oxford University Press, Oxford.
- Silva G. G. 1985 Elsevier's Concise Spanish Etymological Dictionary, Elsevier Science Publishing, NewYork.
- 白川静『字訓』1997 平凡社
- 竹林滋・寺澤芳雄・小島義郎・東信行・安藤貞雄・川上道 (編) 2002『新英和大辞典 第六版』研究社 (新英和大)
- 田中秀央・落合太郎 編著 1984『ギリシア・ラテン引用句辞典』岩波書店
- Terrel, P et al, 1999 Collins German-English English-German Dictionary Forth Edition, HarperCollins, Glasgow.
- Van Sterkenburg 1 名監修 1994『講談社オランダ語辞典』講談社
- 辻幸夫他 6 名編 2019『認知言語学大辞典』朝倉書店
- Whitlam, J. et al 2001 Collins English-Portuguese Portuguese-Ingles Dictionary Second Edition, HarperCollins, Glasgow

(2023.1.20 受稿, 2023.3.6 受理)

[Abstract]

As in the previous paper, some Indo-European roots related to sameness, are described and analyzed. , similar semantic changes are again found to have led to the relation that evokes Wittgenstein's family resemblance. In addition, as the word, union shows, the relation based on kindred is extended to an organizations such as trade union The semantic changes found in the words derived from the root *oino- for example, unite, union, and unite, may be suggestive of universal semantic changes. The changes concerning other roots are to be described and illuminated next time.